

1999-Ⅰ 乳用牛評価からの変更について

1. 遺伝率の変更（体型形質）

1997-Ⅱから評価を開始した、得点形質の外貌、肢蹄、線形形質の乳頭の長さについて、評価開始後さらにデータが追加されたことから、遺伝率を再度算出し、1999-Ⅰの評価より新しい遺伝率に変更します。

なお、新しい遺伝率及び誤差分散は、以下のとおりです。

	遺伝率	誤差分散
外貌	0.18	2.200
肢蹄	0.09	3.950
乳頭の長さ	0.30	

これらの遺伝率および誤差分散は、(社)日本ホルスタイン登録協会および帯広畜産大学鈴木助教授によって推定されたものです。

2. 両親の推定育種価の平均値（PA）の計算開始

牛群改良情報に掲載されない雌牛（未經産牛や初産検定5回未満等の発表基準を満たさない雌牛）のうち、父牛及び母牛のEBVが明らかなものが参考情報として牛群改良情報に掲載されることになりました。

計算方法

乳成分率以外の泌乳形質、総合指数に関係する体型形質

$$PA = (\text{父牛のEBV} + \text{母牛のEBV}) / 2$$

乳成分率（乳脂率の例）

$$EBVF\%(PA) = \{ (EBVF(PA) + Fbase) / (\text{乳量EBV}(PA) + Mbase) - (Fbase / Mbase) \} \times 100$$

1.で求めた値と、乳脂量及び乳量ベース（Fbase、Mbase）を用いて求める。ただし、乳脂量及び乳量ベースは、雌牛評価のもの。

総合指数、産乳成分、乳代効果

もとめた両親の平均値（PA）を使い、通常的能力評価値と同じ方法で計算した。